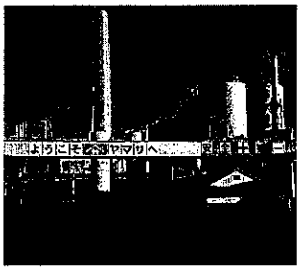
ヤマサ醤油、国内生産ー

120億円投じ「多品種少量」工場



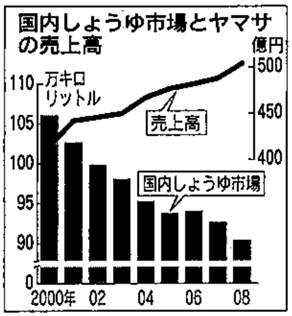
国内で銚子以外に工場を持つのは初めて（ヤマサの銚子工場）

に建設する。物流センターを合わせた延べ床面積は2万6千平方㍍。用地の取得を含む投資額は120億円で、大半を自己資金でまかなう。国内で創業の地である千葉県銚子市以外に工場を持つのは初めて。

銚子工場はしょうゆの原液や化成品の生産に特化する。しょうゆの原液し、瓶詰めしたりほかの調味料と混ぜてたれやつゆに加工したりする。現在は銚子工場で原液の生産と最終加工の両方をまかなっており、設備が老朽化していた。

新工場が稼働しても実質的な生産能力は増えないが、多品種少量の製品を効率的に生産できるようになる。食品メーカー間を省くため、独自の仕様の調味料を発注するケースが増えている。こうした要望に柔軟に応えることで取引を開拓できるとみている。

新工場は都心から近いため、容器や段ボールといった資材の調達コストも下げられる。同社では銚子工場から新工場に原液を輸送するコストを勘



国内しょうゆ市場とヤマサの売上高

手掛けていなかった。節約志向を背景にPBは伸びると判断した。

ヤマサはキッコーマンに次ぐ国内のしょうゆ製造2位で、08年12月期の売上高は前期比3%増の504億円。新工場の稼

ニチイ学館

ニチイ学館は7日、音声認識システム開発のアドバンスト・メディアと資本業務提携すると発表した。アドバンスト・メディアの既存株主から発行済み株式総数の5・95

メディアが持つ音声認識技術を活用して新しい教育講座や、医療・介護事業の効率化につながる新サービスを展開。株式取得日は未定。ニチイ学館はアドバンスト・メディアの第3位株主になる。

17日から始めると発表した。他社ブランドを含めて、サンダルやスニーカーなど1点につき、同社の婦人靴・バッグ店で使える1000円分（税抜き）の割引券と交換する。

システム開発2社を統合

楽天

楽天は7日、持ち分法適用関連会社のテクマトリックス（東京・港）が、楽天の連結子会社であるカサレアル（同・中央）の発行済み全株式を譲り受け、完全子会社化したと発表した。両社は仮想商店街「楽天市場」など楽天グループのシステム

てんかん薬、欧州販売

エーザイ 今秋から

エーザイは欧州でてんかん治療薬「ゼビニクス」を今秋に売り出す。ポルトガルの中堅製薬会社、ビアル・ポルテーラから欧州での販売権を獲得した薬で、既存薬と異なる作用で発作を抑える。まず9月末にドイツで売り出すほか、10月に英国でも発売する。認知症など精神関連の治療薬の品ぞろえ拡充につなげる。

てんかんは脳内で異常な電気信号が発生して発作が起きるが、既存薬では十分に発作を抑えることができない患者も多い。ゼビニクスは既存薬と併用して投与することが可能なため、医師や患者にとって治療の選択肢が広がるとみている。

エーザイは開発の進ちょくなどに応じて成功報酬や一時金を最大で9500万ユーロ（約130億円）支払う条件で2月、ビアル社からゼビニクスの販売権を得た。

リコーリース

営業車、バイオ燃料限定

月内から、まず首都圏で

リコーリースは営業車の給油時に原則、二酸化炭素（CO_2）排出が少ないバイオ燃料の利用を義務付ける。まず首都圏の支社などを中心に月内に始める。車両ごとの燃費を競わせる社内コンテストも毎月実施し、ガソリン使用量自体も減らす。ガソリン使用に伴うCO_2排出量は全社の半分以上を占めており、2009年度に08年度比5%削減をめざす。

営業車約90台のうち当面の対象は十数台。給油契約している新日本石油が6月に東京、神奈川など1都6県の系列スタンドで販売を始めた植物由来のバイオエタノールを含むガソリンを給油する。販売エリア拡大に応じて対象車数を増やす。

「エコドライブコンテスト」は全車両が対象。カタログ上の燃費性能と実績を比較し、その達成率を競う。毎月の結果を車両使用者の名前とともに社内で開示。優秀者は表彰し、燃費改善が進まない場合は加減速の見直しなどを促す。

車重を軽くして燃費を上げるために燃料を満タンにしない「半タン」など、きめ細かい対策にも取り組む。

同社の08年度のガソリン消費によるCO_2排出量は534㌧で総排出量の55%。一連の営業車対策で09年度に約27㌧（総排出量の約3%）の削減効果を見込む。

レナウンも正社員に

販売職の契約社員

「シンプルライフ」量販店に投入

経営再建中のレナウンは7日、販売職の契約社員を正社員に登用すると発表した。さらに百貨店主体の主力ブランド「シンプルライフ」の婦人服を来春から、スーパーなど量販店でも販売する。営業力テコ入れで業績の建て直しを急ぐ。

販売職の契約社員は4000人弱いる。このうち、新卒で採用した約1600人を対象に、幹部昇進もある総合職正社員や、デザイナーなど別分野の契約社員へ登用する制度を始める。

8月末まで希望者を募り、上司の推薦や面接などで判定し、合格者は来年3月1日に新職に就く。ここ2～3年はアパレル大手の間で類似の制度導入が増えている。

主力ブランドの1つ「シンプルライフ」も強化する。従来は百貨店販売が主力だったが、来春から量販店でも婦人服を発売するなどして、2014年2月期に09年2月期比で約3割増の200億円（小売りベース）に高めることを目指す。

肉は並の6倍／値段も3倍

すき家が「特大」牛丼

ゼンショーは7日、主力の牛丼店「すき家」で通常サイズの並盛に比べ肉の量が6倍、ご飯が2・5倍となる特大サイズの牛丼＝写真㊨、㊧は並盛り＝を12日から発売すると発表した。価格は990円と並盛の3倍。食欲旺盛な若い男性の利用を見込む。

若い男性の利用見込む

特大サイズの牛丼は「牛丼キング」。1食当たりのカロリーは2248キロカロリーで、成人男性の1日の摂取カロリーにほぼ相当する。

2007年に発売した「メガ牛丼」（660円）の売れ行きが好調なため、さらに大きなサイズを出すことにした。

大型サイズの商品はほかのファストフード店でも広がっている。日本マクドナルドが昨年末に発売した「クォーターパウンダー」は人気を集めている。

すき家では同時に並盛より、肉・ご飯の量が約6割少ない「プチ牛丼」も販売する。価格は150円。こちらは女性を含めて幅広い層の需要を見込んでいる。

システム会社が出資

女性向けポータル「カフェグローブ」

女性向け情報ポータルサイト運営のカフェグローブ・ドット・コム（東京・千代田）はシステム開発のイマージュソリューションズ（同・渋谷）と資本・業務提携した。イマージュ社を引受先とする第三者割当増資を実施した。同社は発行済み株式の約14%を持つ筆頭株主となった。通販事業を拡大するためのシステム開発など設備投資に充てる。

カフェグローブは30代女性を主な対象とする読み物コンテンツや物販のサイトを運営。働く女性向けの比較的高額な衣類などは好調といい、通販サイトを強化する。

■そごう・西武（セブン&アイ・ホールディングス傘下）　7日、西武百貨店池袋本店（東京・豊島）を今秋から本格改装に着手すると発表した。2010年中の完成を目指す。セブン&アイグループとの連携を軸に、約200億円を投じて値ごろ感のある商品やブランドを拡充する。

四川省で生産・販売

■雪国まいたけ　中国・四川省にエノキダケの生産・販売を手掛ける現地法人を設立する。キノコの大消費地である同省の成都市近郊に工場を建設する予定。

スペイン語教材を開発

■公文教育研究会（大阪市）　スペイン語で編集した教材を開発、スペイン国内の教室で9月から使用を始める。就学前の児童から小学校低学年生までを対象に、母国語で単語の書き取り練習などを行えるようにする。

新社長

◇日本食研

大沢　哲也氏（おおざわ・てつや）96年（平8年）慶大経卒。98年日本食研入社。04年取締役、07年副社長。愛媛県出身。38歳

（10月1日就任予定。同社は10月1日付で持ち株会社に移行。大沢一彦社長は代表権のある会長に）

・会社人事・

（役職名のないのは部長職）

素材・エネルギー

東洋ドライルーブ（9月29日）監査役、河本幹正

ブリヂストン（9月1日）CHRO、取締役兼常務執行役員兼CRO兼CCO兼グループCEO室長津谷正明▽CQO、執行役員佐藤洋一

菊水化学工業（9月21日）管理本部・セラミック事業部担当（製造本部担当）専務三戸武志▽製造本部・クリエイティブセンター担当（営業部門統括）常務山口均

エレクトロニクス

イーター電機工業（7月31日）退任（専務）鴨村弘則（8月1日）技術本部・生産本部・営業本部副本部長兼管理本部長（管理）取締役山本浩之

副事業部長、郷古信彦▽技師長（P・交通S事業C技師長）エネルギー・環境事業統括戦略室技師長伊藤和逸

（交通・先端機器事業部）事業部長（P・交通S事業C副所長）山口武生▽副事業部長（神戸造船所副所長）長島建▽同（同造船所内部統制推進室長）豊嶋義富▽同（P・交通S事業C品質保証）渡辺芳治▽技師長（同C技師長）藤岡洋

（機械事業部）事業部長（広島製作所長）鯨井洋一▽副事業部長（同製作所副所長）梶泰起▽同（同）嶋田修之▽同（同）加藤博樹▽技監・技師長（広島製作所技監・技師長）毛利靖

生活・サービス

藤田観光（8月7日）商品開発部担当、執行役員八丁地園子

セラーテムテクノロジー（9月17日）取締役、CFO宮永浩明▽退任（取締役）今井一孝▽同（同）林田正昭

ニチイ学館（8月7日）教育事業本部教育事業部長、教育事業本部長福田貫弓

食品・アグリ

日本食研ホールディングス（10月1日より日本食研から社名変更）（10月1日）会長、大沢一彦▽社長兼社長執行役員、大沢哲也

アクシーズ（9月18日）専務（取締役）伊地知高正▽取締役、営業・豊留幸男▽同、西秀樹▽常勤監査役、松山照▽退任（取締役）真田芳彦

住建・不動産

東鉄工業（9月1日）土木本部鉄道土木技術（東京土木支店副支店長兼東京建築支店副支店長）執行役員加藤正二

三井住友建設（9月1日）執行役員、建築営業本部次長斉藤隆▽同、田原一光

ルーデン・ホールディングス（9月4日）会長（取締役）西岡進

小売り・卸・外食

オーシャンシステム（8月7日）退任（取締役）山崎喜一郎

銀行

池田銀行（8月8日、地名は支店長）曽根（三田ウッディタウン）尾下忠▽梅田、藤森義昌▽三田ウッディタウン、辰馬卓

三菱東京UFJ銀行（8月7日）新丸の内支店長兼東京営業（リテール融資）村本篤▽京都支店長兼京都中央支店長（新丸の内支店長兼東京営業）苅谷稔▽リテール融資、鷲見英二

中京銀行（8月7日、地名は支店長）名古屋中央（津島）鬼頭修策▽津島、山本融

保険

東京海上日動火災保険（9月1日）大阪自動車営業第一、小室知彦